

# MLA48

NEWS  
LETTER

2015年12月13日

No.87

## MLA48プロジェクト

### 🕒 12月度個別ミーティング

12月10日、[慶應義塾大学日吉キャンパス](#)で**MLA48プロジェクト**のミーティングを開催しました。

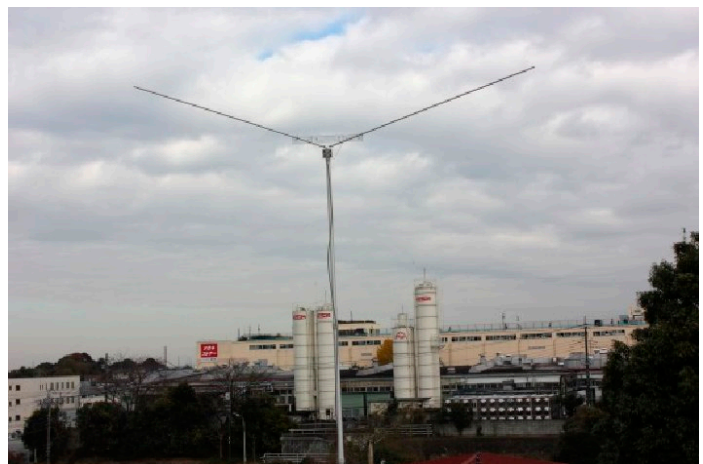


前列左から：JA1QC, JI1DCS, JR1OAO, JF1VNR 後列：JA5KVK(左写真)/JA1QOJ, JA1BJJ, JA1HIS, JF1IQQ  
(2枚の写真は「まちがいがし」ではありません, hi. タイマーと三脚は必須のようで…)

Φ JA1QOJ 村吉さん 自宅マンションベランダに設置した MLA の上部に **1/2λ長のエレメントを設置**した状態で受信すると、S の振れが1から6に改善するという実験結果が報告された。小川さんが MLAsim で即シミュレーションされ、1/2λエレメントが主体の指向特性が確認できた (1/2λ DP 単体では、S は6.8の振れ)。

Φ JA1HIS 横田さん 自宅ベランダの底と手すりに MLA を近づけた際の JG1ZGW ビーコンの受信結果が報告された。MLA のバリコン部を上にした状態と下にした状態で手すりや底に近づけると、明らかに下にしたのほうが S メータの振れは大きかった (5.5 から 8.0)。バリコン部が上の状態は、S が1から6.5。「**バリコン部を導電体に近づけると受信強度がより向上する**」現象は、新しい発見 (次ページの表参照)。

Φ JA1BJJ 大島さん 安価なロッドアンテナ等を分解して、日ごろ目にできない内部構造について説明があった。また、携帯型トランシーバと同等な大きさの金属箱を製作され、その箱を介して SWR 等の測定をデモ。この方が、実際にトランシーバに実装した状態に近いアンテナの特性測定が可能 (次ページの写真参照)。



底, 手摺り間隔 126cm SWR は AA-600 で測定

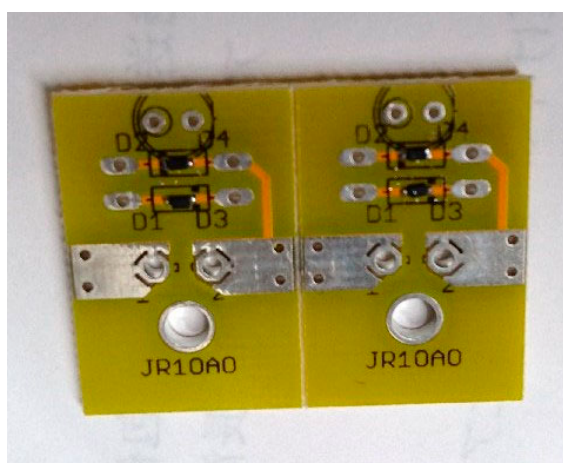
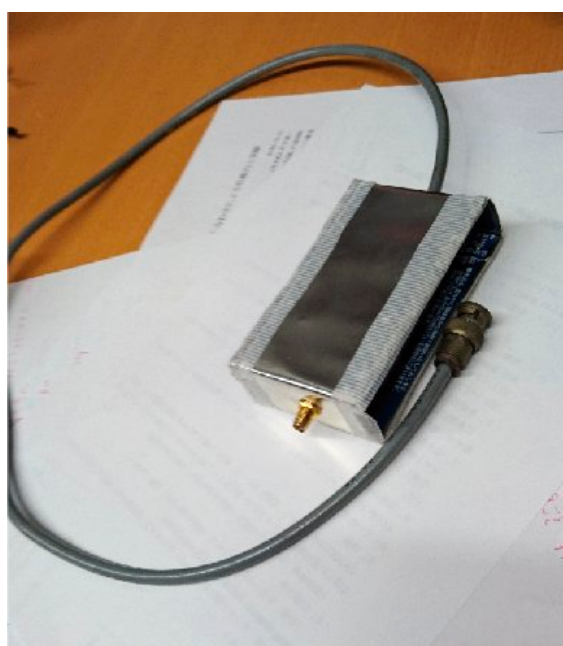
バリコン上部

底/手摺りからの距離 cm	受信信号 S	SWR
底から 10	6.5	1.50
20	6.0	1.35
30	5.5	1.29
40	5.0	1.23
手摺りから 40	4.5	1.24
30	3.0	1.23
20	1	1.28
10	2.0	1.38

バリコン下部

底/手摺りからの距離 cm	受信信号 S	SWR
底から 10	5.5	1.46
20	6.9	1.18
30	7.0	1.19
40	7.0	1.17
手摺りから 40	7.1	1.12
30	7.0	1.19
20	7.0	1.22
10	8.0	1.21

Φ JR10AO 中島さん 電波灯台用基板(ショットキーダイオード付)がお土産として配布された。



Φ JA1QC 山本さんより寄贈いただいた銅パイプの領布案について、事務局より説明。12月中を期限に領布希望を募る(12/11のEmail「銅パイプ領布のお知らせ」を参照。「伝助」に登録ください)。

DE JF1VNR & JA1QOJ (JG1UNE 編集)

